

令和6年度決算 事業体系図

所属名： 教育総務課

(単位：千円)

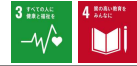
款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
9 教育費	1 教育総務費	1 教育委員会費	243	教育委員会費	2,034	2,015
			小計		2,034	2,015
9 教育費	1 教育総務費	2 事務局費	245	教育委員会事務局費	37,034	35,339
			246	ALT配置事業	7,144	7,122
			247	進学支援事業	8,254	4,902
			1533	ICT教育推進事業	6,169	5,855
			1125	コミュニティ・スクール推進事業	1,496	807
			1476	共同学校事務室	849	729
			小計		60,946	54,754
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	256 等	一般経常経費（小学校）	96,459	83,932
			小計		96,459	83,932
9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	262 等	一般教育振興費（小学校）	43,843	42,393
			小計		43,843	42,393
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	277 等	一般経常経費（中学校）	96,142	33,192
			小計		96,142	33,192
9 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	280 等	一般教育振興費（中学校）	30,944	25,758
			1651	中学生国際交流事業	2,839	2,641
			小計		33,783	28,399
9 教育費	5 保健体育費	4 給食センター運営費	353	学校給食事業	315,303	225,162
			小計		315,303	225,162
所属合計					648,510	469,847

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	243	事業名	教育委員会費		会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続			
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	1 教育委員会費			
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進					
	重点事業								
年度		最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度		2,034	2,015	0	0	0	0	2,015	
事業の目的(なんのために)	教育行政における重要事項や基本的事項などを決定するとともに、関係事務の執行状況を点検、評価し、地域住民の意向を反映した教育行政を実現するために、琴浦町教育委員会の運営を行います。								
細事業等	内容						決算額(千円)	財源内訳	
教育委員会運営	<p>月1回の定例会及び必要に応じて開催する臨時会において、必要事項を決定しました。</p> <p>学校訪問のほか学校行事や地域行事等への参加を通じて、学校や地域の実情、課題の的確な把握に努めるとともに、学校現場の諸課題や地域課題に関する各種研修に積極的に参加しました。</p> <p>総合教育会議における意見交換により、教育行政に関する方向性などについて町長との連携強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 1,951千円 ・負担金 64千円 						2,015	単町	
合計							2,015		
事業の主な実施状況	<p>■R6年度教育委員会の主な活動状況</p> <p>(1) 教育委員会の会議 15回</p> <p>(2) 総合教育会議 1回</p> <p>※会議資料、会議録については、町ホームページで公開</p> <p>■その他の活動状況</p> <p>(1) 学校計画訪問(小中学校 6回、こども園 2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業及び保育参観 ・各校等の運営方針や取組み状況について聴取及び教職員との意見交換等 <p>(2) 町内会議・行事等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員宣誓式、小中学校入学式・卒業式、その他行事 <p>(3) 研修・視察・調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/29 東伯地区教育委員会連絡協議会 ・7/10 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 ・2/2 鳥取県教育研究大会 								
事業目的の達成状況	担当課による評価	S 目的達成							
	<p>【前年度の課題の概要】 教育現場の状況把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 町内各学校、こども園への計画訪問や行事参加、各種研修会への参加等を通じて、子どもたちの学習環境の把握に努めました。また、教育委員会にて、教育行政の課題について協議を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 教育環境や児童生徒の状況、教育行政における課題などの把握に努め、教育委員会を適宜開催して協議を行いました。</p>								
今後の取り組みの方向	今後も教育現場の状況把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費			会計区分	一般会計																															
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続																																
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費																																
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進																																	
	重点事業																																					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					町債	一般財源																													
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)																																	
令和6年度	37,034	35,339	0	412	1,011	6,000	27,916																															
事業の目的(なんのために)	教職員の健康管理や校務用システム環境の整備など、町内の小中学校全般に関わる事務を執行することで、町内の義務教育環境を整えます。																																					
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳																															
義務教育環境の整備	教職員の校務用PCシステム環境の整備や、町内児童生徒全般に関わる事務を行いました。 ・少人数学級協力負担金 6,000千円 ・教育ネットワーク保守委託料 2,640千円 ・学校業務支援システム負担金 2,294千円 ・校務用PC、プリンター等リース料 15,035千円 ・就学指導推進協議会負担金 37千円 ・中部子ども支援センター負担金 1,730千円 ・郡小・中学校負担金 327千円 ・通信運搬費(学校公用携帯) 251千円 ・聖郷小学校門脇教育図書購入基金利子積立金 11千円 ・特殊建物定期点検委託料 3,960千円					32,285	過疎債6,000、その他11、町26,274																															
教職員の健康管理	町内の学校に勤務する教職員に対し健康診断等を行いました。 ・健康診断実施手数料 1,034千円 ・教職員ストレスチェック手数料 15千円 ・産業医面接指導委託料 20千円					1,069	単町																															
フリースクール利用料助成事業	フリースクール利用にかかる経費の一部を助成しました。 ・琴浦町フリースクール利用料補助金 1,435千円 助成対象：授業料等、交通費 助成金額：授業料等の全額(上限30千円/月) 交通費全額(公共交通機関)					1,435	県412、平岩福祉教育基金1,000、町23																															
就学支援診断書料助成事業	就学先の決定に向けた東伯郡就学指導委員会での審査に必要な診断書の取得に係る費用の一部を助成しました。 ・琴浦町就学支援診断書料補助金 84千円 助成対象：特別支援学級等への入級等を検討する保護者 助成内容：診断書料の全額(上限3,000円/件)					84	単町																															
教育委員会事務局運営費	事務局の運営を行う。 ・普通旅費 128千円 ・教育長交際費 12千円 ・消耗品 262千円 ・燃料費 51千円 ・自動車保険料 13千円					466	単町																															
合計						35,339																																
事業の主な実施状況	<p>■少人数学級の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県基準による少人数学級の実現により、子どもたちの学びやすい環境を整えるとともに、教員の学級経営の負担軽減を図りました。(3クラスが該当：浦安小4年、赤崎小4年、赤崎小5年) <table border="1"> <tr> <td>配置基準</td> <td>小1</td> <td>小2</td> <td>小3</td> <td>小4</td> <td>小5</td> <td>小6</td> <td>中1</td> <td>中2</td> <td>中3</td> </tr> <tr> <td>国基準</td> <td></td> <td></td> <td>35</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県基準</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td>35</td> <td>33</td> <td>35</td> <td></td> </tr> </table> <p>■教職員校務環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 校務用パソコン機器のほか学校業務専用ネットワーク回線及び県下統一の学校業務支援システムに係る経費を負担し、教職員の業務負担軽減を図りました。 教職員の健康診断及びストレスチェックを実施し、適切な健康管理を図りました。 								配置基準	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	国基準			35					40		県基準			30			35	33	35	
配置基準	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																													
国基準			35					40																														
県基準			30			35	33	35																														

	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建物の法定点検を実施しました。（3年に1度） ■学習支援員等の配置（別事業） ・各学校に学習支援員、部活動指導員、日本語学習支援員、外国語活動支援員など必要な職員を配置、また教育総務課にスクール・ソーシャル・ワーカー、特別支援教育コーディネーターを配置し、児童生徒の学習環境の充実を図りました。 ■保護者への経済的支援 ・フリースクール利用料や就学指導に係る診断書料に対する助成を行い、保護者負担の軽減を図りました。 	
事業目的の達成状況	担当課による評価	S 目的達成
	<p>【前年度の課題の概要】 日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中、きめ細かな対応ができるよう、継続して学習支援員等の配置を行う必要があります。 県費負担教職員の増員、処遇改善等については、引き続き国や県に働きかけを行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 県基準による学級編成を行うことで、少人数学級を実現しました。 また、日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒にきめ細かな対応ができるよう、学習支援員等の配置を適切に行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 少人数学級の実現に加えて学習支援員をはじめとする必要な職員を配置することで、多様化するニーズに対応する学校現場の負担軽減を図ることができました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>多様化する教育ニーズに対応し教職員の負担軽減を図るために、必要な環境整備を継続して行います。 また、県費負担教職員の増員、処遇改善等について、継続して国や県に働きかけを行います。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	246	事業名	ALT配置事業		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	7,144	7,122	0	0	0	5,600	1,522
事業の目的(なんのために)	学校生活の中で外国語や外国文化に興味を持つきっかけをすることで、外国語に対して苦手意識を持つことなく、コミュニケーション手法の一つとしての英語力を身につけた人材を育成します。						
細事業等	内容			決算額(千円)	財源内訳		
中学校ALT配置事業	中学校2校にそれぞれA L T (JETプログラム)を配置しました。 ・ALT住居費用(家賃補助金)等 366千円 ・ALT受入及び帰国負担金 等 1,080千円			1,446	単町		
小学校ALT配置事業	児童が外国語に親しむ機会を広げるため、小学校にA L Tを派遣しました。 1名のA L Tが町内5つの小学校を巡回しました。 ・ALT派遣委託料 5,676千円			5,676	過疎債5,600、町76		
合計				7,122			
事業の主な実施状況	<p>■中学校へのALT配置</p> <p>・JETプログラムを活用して、東伯中学校と赤崎中学校にそれぞれ1名ずつALTを配置しました。英語の授業をサポートするほか、校内掲示物や図書を通じて英語と親しむ機会を作るなどの活動を行いました。</p>						
							
<p>■小学校へのALT配置</p> <p>・民間事業者への委託により、ALTが町内の全小学校を巡回、指導を行いました。外国語活動や外国語教科をサポートすることで、教員の負担軽減を図りました。</p>							
担当課による評価			S 目的達成				
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 各校の意見や活用状況を参考に、今後の配置や活動の場などを検討していきます。</p>						
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 JETプログラムを活用して新たなALTを赤崎中学校に配置しました。 小学校においては各校の聞き取りを行い、ALTの活動内容や巡回日程など委託事業者との連絡調整を行いました。</p>						
	<p>【担当課による評価の理由】 中学校にはそれぞれにALTを常勤で配置し、英語の授業はもとより校内掲示等により生徒とのコミュニケーションを図るなどの活動を行いました。 小学校は1名のALTが5校を巡回し、児童の外国語への興味を高めることができました。</p>						
今後の取り組みの方向	現在のALTが任期を終えて帰国するため、新たなALTを中学校にそれぞれ1名配置します。引き続き、外国語に親しむ機会を増やしていくことで、児童生徒の英語力向上を図ります。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



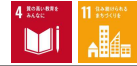
事業番号	247	事業名	進学支援事業		会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	8,254	4,902	0	2,249	2,262	0	391	
事業の目的 (なんのために)	高校生、大学生の修学に係る経費負担を軽減し、修学の機会を拡大します。							
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳		
高校生等通学費補助事業	町内の高校生等がJRや路線バス、琴浦町営バスを利用して通学するにあたり費用の一部を助成しました。 ・高校生等通学費補助金 4,420千円 対象：JR通学定期券代、バス定期代（一部） 助成額：月額7,000円を超える額 ・高校生町内バス通学費補助金 79千円 対象：琴浦町営バス通学定期券代 助成額：定期券代の8割				4,500	県2,249、ふるさと未来夢基金2,000、町251		
通学援助費	大成地区の児童生徒の通学にかかる保護者負担の軽減のため、通学費の一部を支援しました。 ・扶助費 140千円				140	単町		
林原育英奨学資金貸付事業	・基金積立金 240千円 ・基金利子積立金 22千円				262	その他262		
合計					4,902			
事業の主な実施状況	■高校生等の通学支援 (1) 高校生等通学費補助金 (117人支給) ・高校への通学費の一部を助成 (JR及びバス定期代のうち7,000円を超える額) することで、保護者の負担軽減を図りました。 (2) 高校生町営バス通学費補助金 (5人支給) ・対象地域に居住する高校生に対して琴浦町営バスの定期代の8割を助成し、保護者の負担軽減を図りました。 (3) 大成地区の通学支援 (1世帯支給) ■林原育英奨学資金の貸付 ・R6年度は、貸付け希望者がありませんでした。							
	担当課による評価			S 目的達成				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 申請の簡素化、保護者負担の軽減を目指し電子申請の導入など検討をすすめます。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 電子申請の導入を図るため、高校生通学費補助金要綱の改正による申請の簡素化について検討をすすめました。令和7年度中の導入を目指します。 【担当課による評価の理由】 必要な世帯への支援ができるよう、制度の周知に努めました。							
今後の取り組みの方向	高校生等通学費補助金について、保護者負担の軽減と利便性向上のため電子申請の導入をすすめます。							


令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1533	事業名	ICT教育推進事業			会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			③ ICTを活用した個別最適な学びの提供				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	6,169	5,855	0	0	4,000	0	1,855	
事業の目的 (なんのために)	ICTが進化し変化の激しい社会を生きる子どもたちにふさわしい、全ての子ども達の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを活用した教育を推進します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
ICT活用環境整備	ICTを活用した学習を効果的に進めるため、必要なソフトウェアを導入し、活用を図りました。 ・学習支援ソフト(ミライシード)使用料 4,620千円 ・中学校テスト採点ソフト使用料 231千円 ・授業目的公衆送信補償金 89千円 ・タブレット修繕料 48千円 ・持ち帰り学習用モバイルルーター貸与 867千円					5,855	ふるさと未来夢基金 4,000、単町1,855	
合計						5,855		
事業の主な 実施状況	<p>■ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフト(ミライシード:ベネッセ)を活用した授業を各校で展開しました。子どもたちが自分の考えをまとめたり、グループワーク、課題提出、学習ドリルなどを活用しました。 ・各中学校区に1人ずつICT支援員を配置し、教員のICT活用に向けた支援を行いました。 ・令和7年度のタブレット端末更新を見据えて、新たな学習支援ソフトとして中部自治体での利用が多いロイロノートの導入検討をすすめました。 ・令和6年度から中学校に採点支援ソフトを正式導入したことで、教員の採点業務が軽減されました。 <p>■教職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琴浦町情報担当者研修会を実施し、県DX専門員より校務DXの研修を受けました。あわせて、ロイロノートの導入について担当者より説明を受けました。 <p>■タブレット端末更新の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に予定している学習者用タブレット端末更新にあたり、県・他自治体と共同調達を行うことを決定し、会議・調整を行いました。 ・令和7年3月にプロポーザルにより、ipad導入を決定しました。 							
	担当課による評価			S 目的達成				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>ハード面、ソフト面ともに更新に向けた検討が必要です。学校現場はもとより、近隣自治体も含めた協議を進めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>学校へのアンケート調査を踏まえ、更新するタブレット端末機種をipadに決定し、共同調達を進めました。また、学習支援ソフトの見直しを実施し、中部地区での実績が多い支援ソフトを試験導入し、資料作成の負担を軽減しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>タブレット端末の更新に向けた準備を滞りなく進めることができました。 ICT機器のより効果的な活用を目指して、引き続き各校での活用事例の共有等を図ります。</p>							
	今後の取り組み の方向	夏休み中に新しい端末への更新を行います。 授業や家庭学習などにおける更なるICTの利活用について、事例紹介やICT支援員によるサポート等を進めます。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1125	事業名	コミュニティ・スクール推進事業		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	指導係	□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,496	807	0	239	0	0	568
事業の目的(なんのために)	学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒になって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めます。						
細事業等	内容			決算額(千円)	財源内訳		
コミュニティ・スクール推進事業	学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる『地域とともにある学校づくり』を進めました。 町内全校に設置する学校運営協議会の開催や委員研修のほか、各校の実施状況などを共有し意見交換を行う場をつくるなど、学校それぞれの取組を支援しました。 ・学校運営協議会委員報酬 294千円 ・地域コーディネーター報酬金 151千円 ・コミュニティスクール研修会等講師謝金 7千円 ・学校支援ボランティア消耗品費 91千円 ・学校支援ボランティア保険料 120千円 ・借上料 144千円			807	県239、町568		
	合計			807			
事業の主な実施状況	<p>■コミュニティ・スクールの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校学校運営協議会長、校長、外部有識者によるコミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の取組状況の共有や意見交換などを行いました。 <p>■学校運営協議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 町立学校全7校で、地域や家庭の代表となる委員の皆さんとともに、めざす子ども像やそのための取組みなどについて熟議を重ねました。 10/8義務教育学校について学ぶため、各学校の運営協議会委員、管理職と岡山市の山南学園を視察しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(左) 職員室の様子 (右) 小中学生が一緒に利用する図書館</p> <p>■学校支援ボランティアの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校では、保護者や地域のみなさんに学校支援ボランティアとして、登下校、遠足の見守り、読み聞かせ、家庭科等の学習支援などにご協力いただきました。 						



聖郷小：ボランティアによる学習支援



船上小：ボランティアによる見守り活動



赤碓中：でかける赤中で地域ボランティア

		担当課による評価	S 目的達成
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】	「めざす子ども像」の実現に向けて、各校で少しずつ活動が展開されていくと考えます。各校の情報交換を行う場（町コミュニティ・スクール連絡協議会）や、他地域の事例を学ぶ場（県コミュニティ・スクール推進研修会への参加、県外視察研修）などを設定します。	
	【前年度課題についての対応及び成果】	町コミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の取組についての情報交換、各学校長、会長の意見交換を行う場を設定しました。また、鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会にも各校から多くの委員が参加し、先進校の取組を学びました。 R6年度は、各校学校運営協議会委員及び学校管理職が岡山市立山南学園を訪問し、地域開放の視点をもった学校のつくりや学校支援ボランティアの活動の様子などを視察されました。	
今後の取組み の方向	【担当課による評価の理由】	年次計画のとおり町内全校での取組を達成することができました。 各校において、それぞれ地域の特色を生かした取組が展開されるようになってきました。	
	【今後の取組みの方向】	地域とともにある学校づくりに向けた各校の取組が一層推進されるよう、引き続きコミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の情報交換を行ったり、他地域の事例を学ぶため研修会など、学校運営協議会への情報提供等に努めます。	



令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1476	事業名	共同学校事務室		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	849	729	0	0	0	0	729
事業の目的 (なんのために)	学校事務の平準化、業務処理の効率化及び適正化を図ることと、教職員の負担軽減を図ることを目的として、共同学校事務室を設置する。						
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳			
共同学校事務室	共同学校事務室を東伯中学校に設置、室長を中心に事務の共同実施等を進めました。 ・通信運搬費 6千円 ・使用料 401千円 ・印刷製本費 135千円 ・消耗品費 66千円 ・筆耕料 121千円		729	単町			
合計			729				
事業の主な実施状況	■共同事務の実施 ・学校事務職員が東伯中学校に月3日程度参集し、集中業務や各校での業務確認などを行いました。						
事業目的の達成状況	担当課による評価		S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 学校事務の共同実施による平準化を進め、更なる効率化を図るため検討を行います。						
	【前年度課題についての対応及び成果】 学校事務の共同実施を進め、事務の平準化を図りました。 OJT等は特に新規採用職員の人材育成に効果がありました。						
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 システムの活用や事務の共同実施、OJTにより、各校で遅滞なく学校事務を進めることができました。						
	引き続き、学校事務の共同実施による事務の効率化と人材育成に取り組めます。						

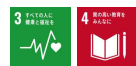
令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	256等	事業名	一般経常経費 (小学校)			会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
重点事業								
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	96,459	83,932	1,815	0	309	14,600	67,208	
事業の目的 (なんのために)	小学校の運営を円滑にするために施設維持及び整備、環境整備を行う。							
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳			
小学校施設管理 【改善】	学校施設の適切な維持管理を行いました。 ・八橋小学校空調新設・更新工事 9,823千円 ・八橋小学校空調設備設計委託料 572千円 ・浦安小学校倉庫解体工事設計委託料 1,760千円 ・浦安小学校倉庫解体工事(前払金) 4,620千円 (R7繰越: 8,030千円) ・浦安小学校倉庫解体工事設計管理委託料 0千円 (R7繰越: 803千円) ・浦安小学校倉庫設置工事 0千円 (R7繰越: 1,485千円) ・光熱水費 7千円 ・小学校施設修繕料 5,780千円 ・手数料 284千円 ・火災保険料 1,036千円 ・警備、消防、電気設備施設管理委託料 2,614千円 ・学校環境管理委託料 2,438千円 (芝、剪定、防虫、除草、トイレ、除雪、伐採等) ・複合機、印刷機等リース料 1,953千円 ・テレビ受信料 74千円 ・備品購入費 585千円			31,546	国1,815、過疎債8,500、合併特例債6,100、町15,131			
保健衛生関係	児童の健康診断及び学校環境衛生検査を実施しました。 ・嘱託医報酬 1,999千円 ・消耗品費 269千円 ・オージオメーター校正点検手数料 97千円 ・児童健康診断手数料(尿・心電図) 552千円 ・スポーツ振興センター共済負担金 713千円			3,630	その他309、町3,221			
通学支援事業	通学が遠距離になる児童に対し、スクールバスの運行による支援を行いました。 ・スクールバス運行管理業務委託料 11,488千円			11,488	単町			
八橋小学校	八橋小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,185千円 ・燃料費 18千円 ・印刷製本費 21千円 ・光熱水費 5,225千円 ・修繕料 207千円 ・通信運搬費 229千円 ・手数料 389千円 ・使用料 305千円 ・備品購入費 95千円			7,674	単町			
浦安小学校	浦安小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,578千円 ・燃料費 59千円 ・光熱水費 5,097千円 ・修繕料 158千円 ・通信運搬費 313千円 ・手数料 530千円 ・使用料 191千円 ・備品購入費 475千円			8,401	単町			
聖郷小学校	聖郷小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・消耗品費 1,015千円 ・燃料費 10千円 ・光熱水費 4,939千円 ・修繕料 124千円 ・通信運搬費 242千円 ・手数料 410千円			7,052	単町			

	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料 112千円 ・備品購入費 200千円 		
赤碕小学校	赤碕小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,084千円 ・燃料費 20千円 ・光熱水費 5,616千円 ・修繕料 208千円 ・通信運搬費 270千円 ・手数料 380千円 ・使用料 228千円 	7,806	単町
船上小学校	船上小学校の維持管理及び環境整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,001千円 ・燃料費 30千円 ・光熱水費 4,154千円 ・修繕料 196千円 ・通信運搬費 240千円 ・手数料 458千円 ・使用料 99千円 ・備品購入費 157千円 	6,335	単町
合計		83,932	
事業の主な実施状況	<p>■八橋小学校の空調新設・更新</p> <p>・老朽化した多目的室、校長室、保健室の空調を更新し、パントリーに空調を新設しました。</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(左) 多目的室 (右) パントリー</p>		
事業目的の達成状況	<p>■浦安小学校の倉庫解体</p> <p>・老朽化した浦安小学校の木造倉庫を解体するための設計業務を行いました。倉庫解体工事及び再設置工事については、R7年度繰越事業となりました。</p>		
	<p>■各小学校の修繕（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦安小学校電気時計親機取替業務 ・浦安小学校エアコン修繕業務 ・聖郷小学校プールろ過装置修繕業務 ・八橋小学校理科室カーテン取替業務 ・八橋小学校女子トイレ建具修繕業務 ・八橋小学校エアコン修繕業務 ・船上小学校校内放送設備更新業務 <p>■各小学校の備品（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用机・椅子（全体） ・消火栓ホース（全体） ・浦安小学校側板付椅子 ・聖郷小学校大型ディスプレイ 		
	担当課による評価	S 目的達成	
	<p>【前年度の課題の概要】 年次計画による空調等の設備更新等、適切な維持管理を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら適切な維持管理に努めました。年次計画に基づき八橋小学校の空調更新・新設を行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 施設管理に起因する事故等の発生はなく、適切な維持管理を行うことができました。</p>		
今後の取り組みの方向	年次計画に基づき空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。		

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	262等	事業名	一般教育振興費（小学校）			会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	43,843	42,393	707	113	14,549	6,900	20,124	
事業の目的 (なんのために)	教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
指導書・備品等購入事業 【新規】	令和6年度小学校教科書改訂に伴い、教師用指導書及びデジタル教科書を導入しました。 ・備品購入費 19,881千円 寄附金を活用して、各学校に必要な備品を整備しました。 ・備品購入費 1,340千円					21,241	寄附金1,312、ふるさと未来夢基金10,000、町9,929	
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行いました。 ・就学援助費 8,084千円 ・特別支援教育就学奨励費 1,415千円					9,499	国707、過疎債6,900、ふるさと未来夢基金1,800、町92	
教育活動等助成	教育振興のため各種補助金等による支援を行いました。 ・校外活動引率者旅費 1千円 ・修学旅行引率者補助金 39千円 ・バス借上料 698千円 ・負担金 8千円 ・インターネット使用料 396千円					1,142	単町	
文化芸術事業	児童へ文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。 ・巡回公演委託料 453千円					453	単町	
琴浦Myスター☆事業 【新規】	それぞれの学校独自のふるさと教育を通じて、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育みました。 ・報償金 52千円 ・消耗品費 2千円 ・借上料 400千円					454	県113、町341	
八橋小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 16千円 ・消耗品 584千円 ・修繕料 102千円 ・手数料 393千円 ・備品購入費 31千円 ・図書購入費 629千円 ・通級指導教室消耗品費 74千円 ・通級指導教室費便購入費 35千円					1,864	単町	
浦安小学校	児童及び教職員に対して講演会及び研修会を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 183千円 ・消耗品費 760千円 ・修繕料 106千円 ・手数料 548千円 ・備品購入費 196千円 ・図書購入費 881千円					2,674	単町	
聖郷小学校	児童及び教職員に対して講演会及び研修会を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償費 11千円 ・消耗品 428千円 ・修繕料 105千円 ・手数料 255千円 ・備品購入費 158千円 ・図書購入費 368千円					1,325	門脇教育図書基金367、町958	
赤碕小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 205千円 ・消耗品費 567千円					2,059	赤碕地区小学校図書基金670、町1,389	

	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 27千円 ・手数料 460千円 ・備品購入費 129千円 ・図書購入費 671千円 		
船上小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・報償金 182千円 ・消耗品費 474千円 ・修繕料 98千円 ・手数料 266千円 ・備品購入費 197千円 ・図書購入費 465千円 	1,682	赤碓地区小学校図書基金 400、町1,282
合計		42,393	

■琴浦Myスター☆各校の取組み



八橋小：あごかつカレーバーガーづくり



浦安小：朝鑑賞の取り組み



聖郷小：牛乳の美味しさのヒミツ発見



赤碓小：国際交流のまちづくりを学ぶ



船上小：20世紀梨の栽培体験学習

事業の主な
実施状況

■町内事業者等からの寄付金による各小学校の備品購入（主なもの）

- ・八橋小学校コースロープ（寄付）
- ・浦安小学校ディスプレイ（寄付）
- ・聖郷小学校プロジェクト、モニター（寄付）
- ・赤碓小学校ジェットヒーター（寄付）
- ・船上小学校サッカーゴール（寄付）



事業目的の
達成状況

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

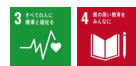
全ての学校がコミュニティ・スクールとなり、各校でさらに地域の方とともにふるさと教育の取組みを検討していくこととされています。

【前年度課題についての対応及び成果】

令和6年度より琴浦町のふるさと教育を体系化し、さらに発展させるため「琴浦Myスター☆」とネーミングして、地域の特性を活かした取組みについて各校で進めました。

	<p>【担当課による評価の理由】 「琴浦Myスター☆」の初年度として、各校独自の課題解決の取組み、各校の特徴的な取組みを行うことができました。また、「琴浦Myスター☆」周知のため、広報ことうらに各校の取組みを連載しました。</p>
<p>今後の取組み の方向</p>	<p>「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成をすすめていきます。</p>

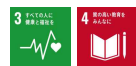
令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	277等	事業名	一般経常経費 (中学校)		会計区分	一般会計	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続	
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	96,142	33,192	0	0	167	0	33,025
事業の目的 (なんのために)	中学校の運営を円滑にするために施設維持及び整備、環境整備を行います。						
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳
中学校施設管理 【改善】	学校施設の適切な維持管理を行いました。 ・ 東伯・赤碕中空調更新工事 0千円 (R7繰越：60,408千円) ・ 同 設計委託料 0千円 (R7繰越：800千円) ・ 赤碕中学校高圧ケーブル更新業務 0千円 (R7繰越：1,287千円) ・ 中学校施設修繕料 3,463千円 ・ 手数料 277千円 ・ 火災保険料 778千円 ・ 警備、消防、電気、エレベータ等保守委託料 2,407千円 ・ 学校施設環境管理委託料 1,204千円 (芝、剪定、防虫、除草、清掃、除雪等) ・ 東伯中プール修繕調査委託料 154千円 ・ 複合機、印刷機等リース料 758千円 ・ テレビ受信料 29千円 ・ 備品購入費 506千円					9,576	単町
保健衛生事業	生徒の健康診断実施や学校環境衛生検査を実施しました。 ・ 嘱託医報酬 728千円 ・ 消耗品費 49千円 ・ 生徒健康診断 (尿・心電図) 298千円 ・ オージオメーター校正点検手数料 39千円 ・ スポーツ振興センター共済負担金 390千円					1,504	その他167、町1,337
東伯中学校	東伯中学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・ 消耗品 1,339千円 ・ 燃料費 164千円 ・ 印刷製本費 24千円 ・ 光熱水費 8,761千円 ・ 修繕料 94千円 ・ 通信運搬費 416千円 ・ 手数料 473千円 ・ 使用料 219千円 ・ 備品購入費 833千円					12,323	単町
赤碕中学校	赤碕中学校の維持管理及び環境整備を行いました。 ・ 消耗品費 1,256千円 ・ 燃料費 80千円 ・ 印刷製本費 39千円 ・ 光熱水費 6,901千円 ・ 修繕料 142千円 ・ 通信運搬費 308千円 ・ 手数料 390千円 ・ 使用料 259千円 ・ 備品購入費 413千円					9,789	単町
合計						33,192	
事業の主な実施状況	<p>■各中学校の修繕 (主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東伯中学校家庭科室給湯器取替業務 ・ 東伯中学校消防制御盤取替業務 ・ 東伯中学校廊下ミラー設置業務 ・ 赤碕中学校防球ネット撤去業務 ・ 赤碕中学校キュービクル塗装等業務 ・ 赤碕中学校エレベータドア気密材交換業務 ・ 赤碕中学校柱上気中開閉器更新工事 <p>■各中学校の備品 (主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用机・椅子 (全体) ・ 会議室用机・椅子 (全体) 						

	<ul style="list-style-type: none"> ・東伯中学校職員用事務机・椅子 ・東伯中学校美術教室用机 ・赤碕中学校職員用事務椅子 	
	担当課による評価	S 目的達成
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 年次計画による空調等の設備更新等、適切な維持管理を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら適切な維持管理に努めました。年次計画に基づき東伯・赤碕中学校の空調更新に取りかかることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 施設管理に起因する事故等の発生はなく、適切な維持管理を行うことができました。</p>	
今後の取り組みの方向	年次計画に基づき空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進めていきます。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	280等	事業名	一般教育振興費（中学校）		会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		□新規 ■継続		
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	30,944	25,758	476	152	3,700	8,100	13,330	
事業の目的 (なんのために)	教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
琴浦Myスター☆事業 【改善】	それぞれの学校独自のふるさと教育を通じて、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育みました。 ・報償金 58千円					58	単町	
備品等購入事業 【新規】	寄附金を活用して、各学校に必要な備品を整備しました。 ・備品購入費 572千円					572	寄附金572	
部活動指導支援事業	地域の専門的指導者を外部指導者として部活動に派遣しました。 ・部活動外部指導者報償金 300千円 ・保険料 4千円					304	県152、町152	
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行いました。 ・就学援助費 9,561千円 ・特別支援教育就学奨励費 953千円					10,514	国476、過疎債8,100、ふるさと未来夢基金450、町1,488	
教育活動等助成	教育振興のため各種補助金等による支援を行いました。 ・英語検定料補助金 71千円 ・修学旅行引率者補助金 251千円 ・大会派遣補助金 998千円 ・バス借上料 1,942千円 ・負担金 184千円 ・インターネット利用料 158千円					3,604	ふるさと未来夢基金950、町2,654	
通学支援事業	通学が遠距離になる生徒に対し、町営バス補助金等による支援を行いました。 ・遠距離通学補助金 1,672千円 ・スクールバス臨時運行業務委託料 66千円					1,738	単町	
東伯中学校	生徒及び教職員に対して講演会や研修会を実施及び学習や通級指導教室に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 74千円 ・消耗品費 1,490千円 ・修繕料 338千円 ・手数料 1,010千円 ・保険料 27千円 ・備品購入費 581千円 ・図書購入費 1,601千円 ・通級指導教室消耗品費 39千円 ・通級指導教室備品購入費 24千円					5,184	ふるさと未来夢基金1,500、町3,684	
赤碕中学校	生徒に対して講演会を実施及び学習に係る備品消耗品等を購入しました。 ・報償金 6千円 ・消耗品費 1,122千円 ・修繕料 154千円 ・手数料 684千円 ・保険料 16千円 ・備品購入費 665千円 ・図書購入費 1,137千円					3,784	ふるさと未来夢基金800、町2,984	
合計						25,758		
事業の主な実施状況	■琴浦Myスター☆の取組み							

東伯中学校



CHACHACHAプログラム



わくわく東伯



ふるさとキャリアCMコンテスト

赤碕中学校



わくわく赤碕



鳥の劇場ワークショップ



地域課題を学ぶ学習

■備品整備（主なもの）

- ・東伯中学校クラリネット ・赤碕中学校ユーフォニアム
- ・東伯中学校ポータブルPAシステム（寄付） ・赤碕中学校ジェットヒーター（寄付）



担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的の
達成状況

【前年度の課題の概要】

全ての学校がコミュニティ・スクールとなり、各校でさらに地域の方とともにふるさと教育の取組みを検討していくこととしてしています。

【前年度課題についての対応及び成果】

令和6年度より琴浦町のふるさと教育を体系化し、さらに発展させるため「琴浦Myスター☆」とネーミングして、地域の特性を活かした取組みについて各校で進めました。

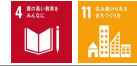
【担当課による評価の理由】

「琴浦Myスター☆」の初年度として、各校独自の課題解決の取組み、各校の特徴的な取組みを行うことができました。また、「琴浦Myスター☆」周知のため、広報ことうらに各校の取組みを連載しました。

今後の取組み
の方向

「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成をすすめていきます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1651	事業名	中学生国際交流事業	会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課	担当係	総務係	■新規 □継続			
予算区分	款 9 教育費	項 3 中学校費	目 2 教育振興費				
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成				
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,839	2,641	0	0	1,500	0	1,141

事業の目的 (なんのために)	台湾の中学校との相互交流により、国際理解を深める足がかりとします。		
細事業等	内容	決算額 (千円)	財源内訳
中学生国際交流事業 【新規】	東伯・赤碕中学生と台中市日南国民中学校の生徒がそれぞれの学校を相互訪問し、ホームステイによる交流体験を行いました。 ・旅行手配委託業務 1,602千円 ・通訳、コーディネーター謝礼 314千円 ・ホストファミリー謝礼 240千円 ・食糧費(歓迎夕食会等) 202千円 ・その他消耗品費等 283千円	2,641	ふるさと未来夢基金 1,500、単町1,141
合計		2,641	

事業の主な実施状況

■日南中への生徒派遣
 日程 2024年7月31日(水)～8月4日(日) 4泊5日
 人数 生徒8名(東伯中6、赤碕中2)、引率4名(教育長、東伯中学校長、赤碕中学校長、教育総務課長)、通訳1名
 (1) 友好交流校協定の締結




(2) 日南国民中学での交流の様子






■日南国民中学の生徒受入

日程 2025年2月12日（水）～2月16日（日）4泊5日

人数 生徒9名、引率4名（日南中校長、教諭）、通訳1名



担当課による評価

S 目的達成

【前年度の課題の概要】

【前年度課題についての対応及び成果】

【担当課による評価の理由】

令和6年7月に台中市立日南国民中学に8人の生徒を派遣し、令和7年2月には日南国民中学から9人の生徒を受入れました。交流体験を通じて、外国の文化を身近に感じ、英語を用いたコミュニケーションの機会を創出することができました。

今後の取り組み
の方向

引き続き、相互交流事業により国際理解を深めるきっかけづくりを進めます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	353	事業名	学校給食事業		会計区分	一般会計														
担当課	教育総務課		担当係	学校給食センター		□新規 ■継続														
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	4 給食センター運営費														
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開																		
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳																	
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源													
令和6年度	315,303	225,162	0	341	10,000	49,900	164,921													
事業の目的 (なんのために)	児童生徒の心身の健全な発達のため、バランスのとれた栄養豊かな給食を提供するとともに、「食を通して生きる力を育む」ことを目的に、教育の一環として実施します。																			
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳													
学校給食用物資購入費	<ul style="list-style-type: none"> 給食用食材費 90,092千円 安心安全な給食を町内各学校の児童生徒等に提供するため、給食用物資を購入しました。 年間総提供数 246,207食 年間提供日数 196日 					90,092	学校給食費74,356、ふるさと未来夢基金9,000、企業版ふるさと納税1,000、町5,736													
給食調理業務等委託料	<ul style="list-style-type: none"> 調理業務等委託料 49,390千円 委託内容：副食調理、配缶、食材検収保管、食器食缶・調理機器洗浄消毒等 委託期間：令和3年度～令和7年度 					49,390	単町													
給食配送業務委託料	<ul style="list-style-type: none"> 給食配送委託料 12,783千円 委託内容：各学校への給食の配送、車両の点検整備等 委託期間：令和3年度～令和7年度 					12,783	単町													
調理室内床補修工事、施設・設備の年次的更新	<ul style="list-style-type: none"> 調理室内床補修工事 13,969千円 設計料 132千円 補修工事費 13,837千円 加圧給水ポンプ取替業務 2,134千円 コンテナ 6,738千円 冷却機器類 10,967千円 電気式フライヤー 16,500千円 食器・食缶等洗浄機システム更新 0円 (R7繰越：86,490千円) 					50,308	県341、過疎債49,900、町67													
学校給食センター維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食運営審議会委員報償金 6千円 施設管理消耗品 676千円 給食用食器等補充 825千円 燃料費、光熱水費 14,382千円 調理設備修繕料 1,638千円 通信運搬費 120千円 汚泥運搬、検査等手数料 733千円 火災保険料 96千円 自動車保険料 15千円 施設保守管理委託料 2,802千円 (消防、電気、警備、害虫防除、調理機器、空調設備等) 下水道等使用料 1,158千円 公用車リース料 138千円 					22,589	単町													
合計						225,162														
事業の主な実施状況	<p>■年間を通して米飯またはパン、牛乳、副菜の完全給食を実施しました。</p> <p>物価高騰に伴う単価増額分は町負担とし、保護者負担を据置きとしました。</p> <p>調理業務、配送業務は民間事業者のノウハウを活用し、安心安全な給食の提供を行いました。</p> <p>また、必要に応じてアレルギー対応食の提供を行いました。(アレルギー対応 25人 22品目)</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td>給食費</td> <td>保護者負担</td> <td>町負担</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>324円</td> <td>285円</td> <td>39円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>368円</td> <td>326円</td> <td>42円</td> </tr> </table> <p>■食育の取り組み</p>									給食費	保護者負担	町負担	小学校	324円	285円	39円	中学校	368円	326円	42円
	給食費	保護者負担	町負担																	
小学校	324円	285円	39円																	
中学校	368円	326円	42円																	

「食育だより」等により食に関する知識や習慣などの情報発信に努めました。

学校と給食センターが連携し、各小中学校で食育指導等を行いました。

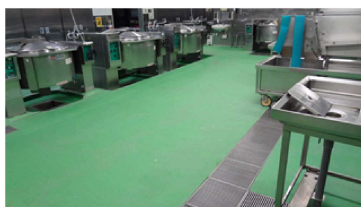
地元産品を活用した「琴浦Myスター☆給食」を3回実施し、児童生徒に町の魅力を発信しました。

これにあわせて浦安地区公民館では学校給食試食会が実施され、また町内団体による給食コラボ弁当が販売されました。



■給食センター設備更新の取り組み

調理室床補修工事や調理機器などの更新を行いました。



調理室床補修工事



真空冷却器・冷凍冷蔵庫



加圧給水ポンプ取替工事



電気式連続フライヤー



給食配送コンテナ

■『めがせ給食マイスター！100人分の給食調理体験会』の取り組み

通常は関係者以外立ち入りできない給食施設を使って大量調理を行うことで、給食作りにおける衛生管理やチームワークの大切さを体感してほしいと初めて開催しました。

日頃お世話になっている栄養職員や調理員の方々の温かさや願いに触れる機会にもなり、参加した児童生徒、保護者からも好評の催しとなりました。

日 時	令和6年7月20日（土）9:00～13:00
対 象	町内の小学校4～6年生及び中学生
参加者	24名（小学生 12名、中学生 1名、保護者 11名）



事業目的の
達成状況

担当課による評価

S 目的達成

	<p>【前年度の課題の概要】 年次計画により、必要な機器更新等を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 調理機器等の更新計画を作成するとともに、機器の故障等への速やかな対応を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 年間を通して安心して安全な給食を提供することができました。 調理委託業者や機器の点検業者等と連携し、スケジュールどおりに調理機器等の更新を行うことができました。</p>
今後の取り組みの方向	令和8年度からの給食調理業務、給食配送業務の委託契約について見直しを行い、安全な給食の安定提供に努めます。